

交通誘導警備員算出根拠（市道横道線）

工 種	計 算 式		備考
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	舗装版切断	$13.8 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	舗装版破碎	$438.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
舗 装 工			
アスファルト舗装工	不陸整正	$360.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	不陸整正	$78.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	表層	$438.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
道路附属施設工			
区 画 線 工	区画線	$2.0 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	

交通誘導警備員 A	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人
交通誘導警備員 B	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。